

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 5 年 6 月 8 日

佐世保市長 宮島 大典 殿

提出者

住 所 長崎県佐世保市小佐々町黒石332番1
 氏 名 株式会社シーヴィテック九州
 取締役社長 安田 貴弘
 電話番号 0956-55-1300



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社シーヴィテック九州
事業場の所在地	佐世保市小佐々町黒石332番1
事業の種類	輸送用機械器具製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和4年4月1日 から 令和5年3月31日 まで

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	t	全処理委託量	t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙①のとおり	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

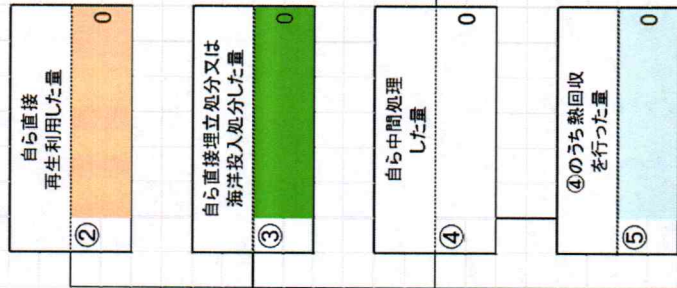
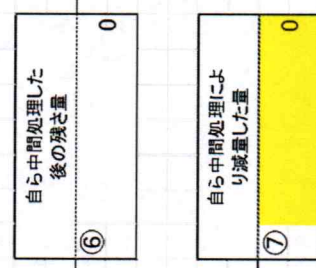
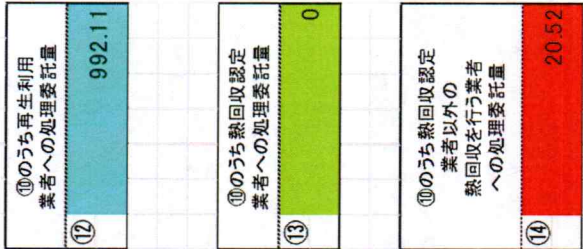
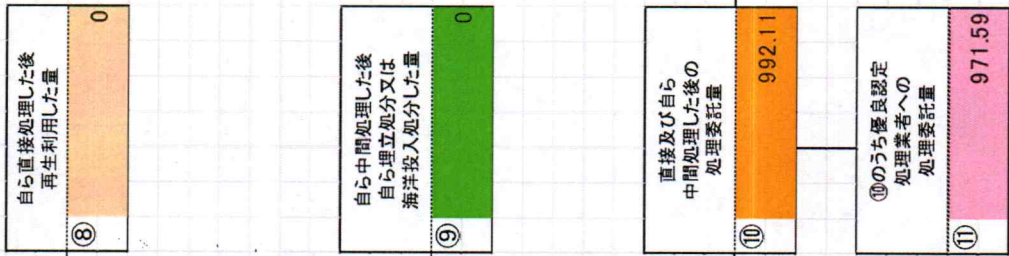
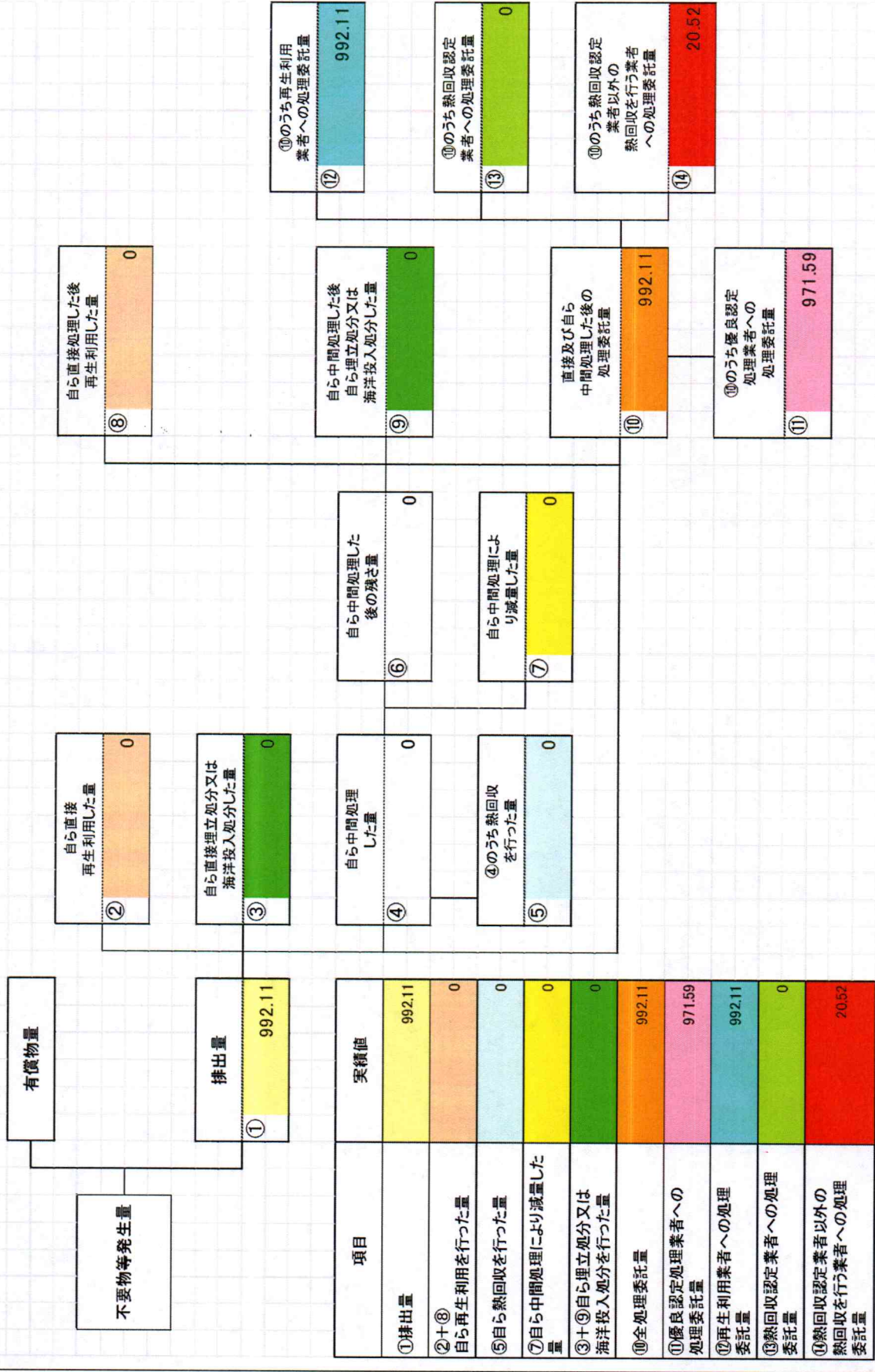
※事務処理欄

2022年度産業廃棄物処理計画における目標値

(単位：t)

目標	2022年度 排出量	全処理委託量				認定熱回収 業者以外の 熱回収を行 う業者への処 理委託量				
		自ら再生利 用行う産業 廃棄物の量	自ら熱回収 を行う産業 廃棄物の量	自ら中間処 理により減量 する産業廃 棄物の量	自ら埋立処 分又は海洋 投入処分を 行う産業廃 棄物の量					
総排出量	1,226.3	0	0	0	1,226.3	0	1,195.5	1,226.3	0	31.4
汚泥	843.6	0	0	0	843.6	0	843.6	843.6	0	0
廃アルカリ	299.5	0	0	0	299.5	0	299.5	299.5	0	0
廃プラスチック類	27.9	0	0	0	27.9	0	0	27.9	0	27.9
廃油	51.6	0	0	0	51.6	0	51.6	51.6	0	0
木くず	3.6	0	0	0	3.6	0	0	3.6	0	3.6
金属くず	0.04	0	0	0	0.04	0	0.04	0.04	0	0
ガラス陶磁器くず	0.09	0	0	0	0.09	0	0.09	0.09	0	0
産業廃棄物の種類										

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類：別紙②のとおり)



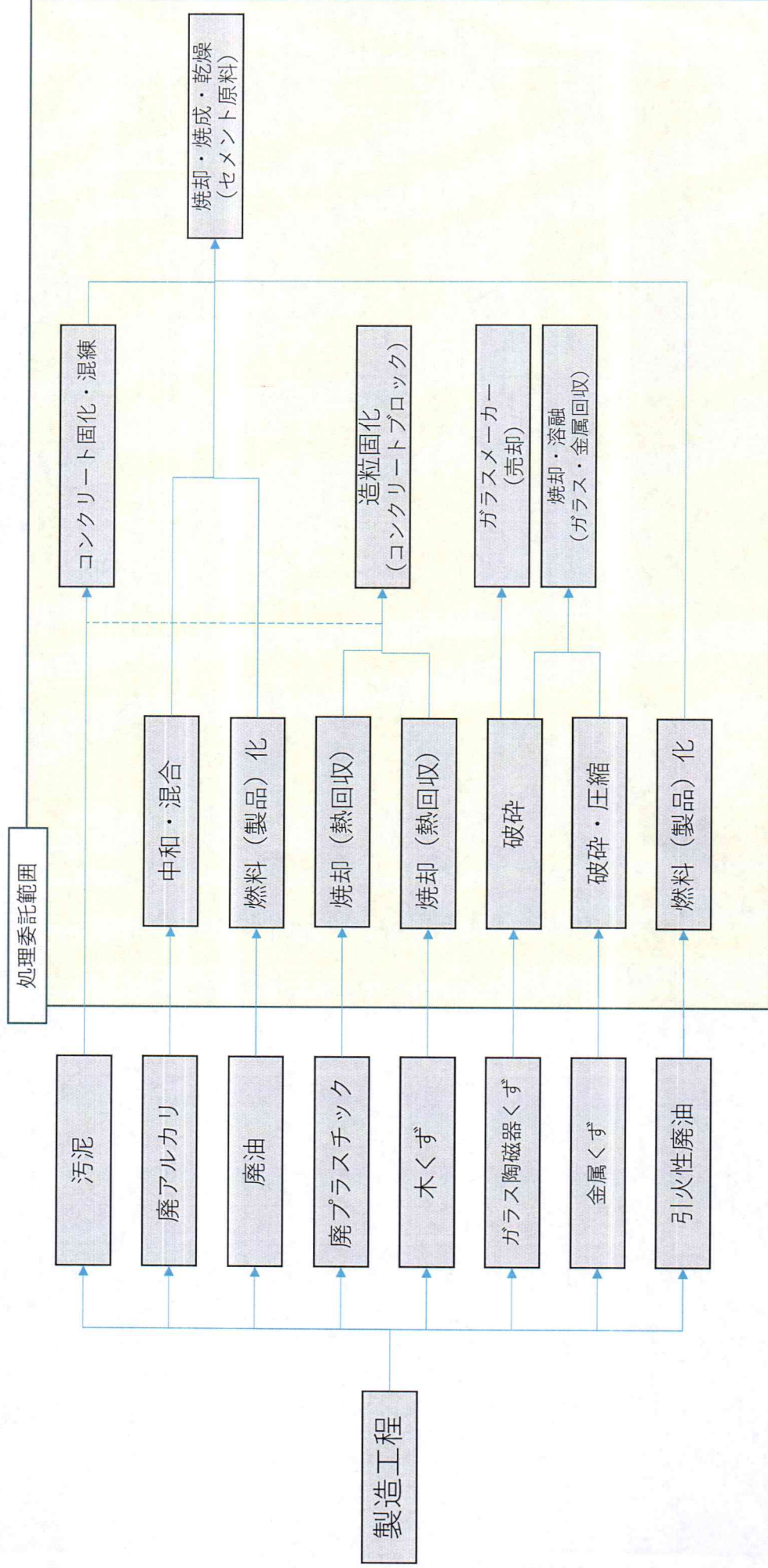
2022年度産業廃棄物処理実績値

(単位：t)

実績	2022年度 排出量	全処理委託量				認定熱回収 業者以外の 業者への処理 委託量				
		自ら再生利 用行う産業 廃棄物の量	自ら熱回収 を行う産業 廃棄物の量	自ら中間処 理により減量 する産業廃 棄物の量	自ら埋立処 分又は海洋 投入処分を 行う産業廃 棄物の量					
総排出量	992.11	0	0	0	0	971.59	992.11	0	20.52	
汚泥	718.30	0	0	0	0	718.30	718.30	0	0	
廃アルカリ	212.61	0	0	0	0	212.61	212.61	0	0	
廃プラスチック類	17.06	0	0	0	0	0	17.06	0	17.06	
廃油	40.01	0	0	0	0	40.01	40.01	0	0	
木くず	3.46	0	0	0	0	0	3.46	0	3.46	
金属くず	0.03	0	0	0	0	0.03	0.03	0	0	
ガラス陶磁器くず	0.11	0	0	0	0	0.11	0.11	0	0	
産業廃棄物の種類										

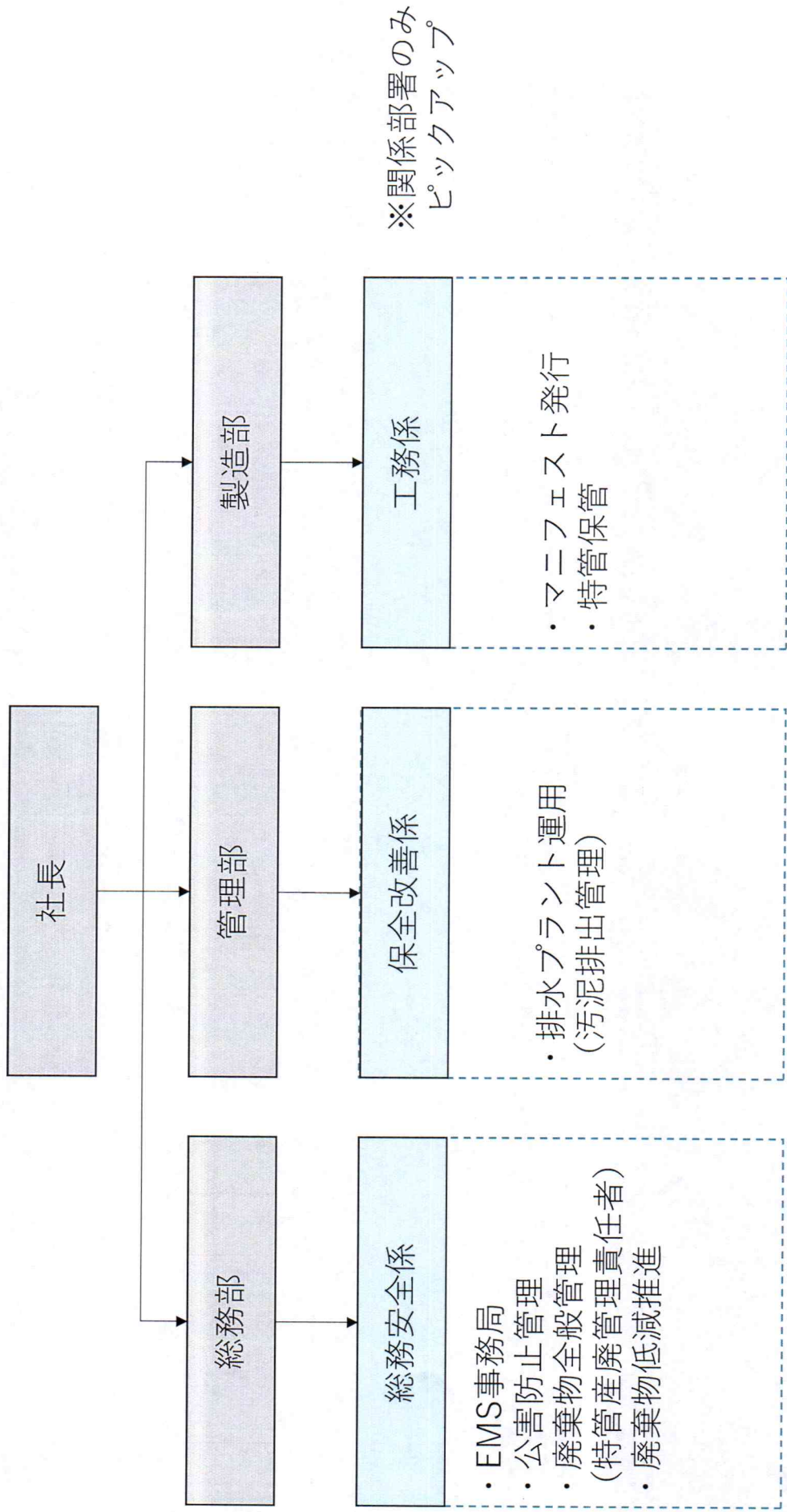
一連の処理工程

【参考】 2022年度当初提出済計画



廃棄物管理体制

【参考】 2022年度当初提出済計画



【参考】2022年度当初提出済計画

廃棄物の処理委託に関する事項

産業廃棄物の種類	単位	産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分にに関する事項	
		2021年度排出実績	2022年度排出目標	2021年度排出実績	2022年度排出目標	2021年度排出実績	2022年度排出目標	2021年度排出実績	2022年度排出目標
汚泥	t	780.6	843.6	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	t	212.0	299.5	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	t	16.7	27.9	0	0	0	0	0	0
廃油	t	34.3	51.6	0	0	0	0	0	0
木くず	t	2.6	3.6	0	0	0	0	0	0
金属くず	t	0.04	0.04						
ガラス陶磁器くず	t	0.09	0.09						
合計	t	1,046.3	1,226.3	0	0	0	0	0	0
原単位	廃棄物量/ 生産本数	0.82	0.74	-	-	-	-	-	-
取組内容		排水プラント増強による 雨水分離槽清掃頻度 の低減	脱水助剤投入による汚 泥含水率の低減						

【参考】2022年度当初提出済計画

廃棄物の処理委託に関する事項

産業廃棄物の種類	単位	全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
		2021年度 排出実績	2022年度 排出目標	2021年度 排出実績	2022年度 排出目標	2021年度 排出実績	2022年度 排出目標	2021年度 排出実績	2022年度 排出目標	2021年度 排出実績	2022年度 排出目標
汚泥	t	780.6	843.6	780.6	843.6	780.6	843.6	0	0	0	0
廃アルカリ	t	212.0	299.5	212.0	299.5	212.0	299.5	0	0	0	0
廃プラスチック類	t	16.7	27.9	0	0	16.7	27.9	0	0	16.7	27.9
廃油	t	34.3	51.6	34.3	51.6	34.3	51.6	0	0	0	0
木くず	t	2.6	3.6	0	0	2.6	3.6	0	0	2.6	3.6
金属くず	t	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0	0	0	0
ガラス陶磁器くず	t	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0	0	0	0
合計	t	1,046.3	1,226.3	1,026.9	1,195.5	1,046.3	1,226.3	0	0	19.3	31.4
原単位	廃棄物量/ 生産本数	0.82	0.74	-	-	-	-	-	-	-	-
取組内容	引き続き現業者に処理を委託										

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。